

PDG 伊藤大亜氏と懇談会を開催

例会終了後の 13 時 40 分からANAインターコンチネンタルホテル東京の 1 階「ありあけ」で伊藤パストガバナーと当クラブの主だった会員とが親しく懇談会を開催致しました。懇談会の模様は次の通りです。

参加者

伊藤パストガバナー
高須会長、大日方 2 5 周年実行委員長、
庄司副会長、尾上幹事、村山 R 情報副委員長
清水 2 5 周年祝典・祝賀委員長、
尾関 2 5 周年記念事業委員長、岩上職業奉仕委員、橋本 R 情報委員

懇談会

橋本：本日は感動の卓話をありがとうございました。只今から伊藤 PDG と懇談させていただき、今後我々の支援活動の参考とさせて頂きたく考えますのでよろしくお願い申し上げます。

伊藤 PDG：例会前に尾関 2 5 周年記念事業委員長と被災地の高齢者ケアの具体的支援を貴クラブ 2 5 周年記念事業で実施する事を聞き大変嬉しく思いました。私達ができる事を協力させて頂きますので、今後情報交換をいたしましょう。

大日方：私は地区に近い立場におりますので数々の進言をしておりますが、迅速に動かないのが実態であり、これでは進展しないと思い、当クラブが会員相互の親睦を目的とする会合の火曜会で赤坂を代表する会員の方々が現地を視察しふれあいを行う事が大切と考え 6 月 1 8 日の視察が実現しました。現地の視察により今後の支援のあり方が明確になるものと考えます。

私達の子クラブであります麻布 RC も現地を視察している模様です。当クラブは今年 2 5 周年記念行事を行います、この記念事業として、東北被災地を支援出来る事を実施する事としてます。

高須：今日は貴重な話を聞いて感動しました。当クラブも 2 5 周年記念事業ならびに社会奉仕活動として委員長中心に被災地支援を行う事に現在取り組んでおります。本日は生の声を伊藤 PDG にお聞きし大変良かったです。ありがとうございました。

庄司：今日はありがとうございました。悲惨ですね！！声も出ないくらいです。政治状況も党益を考えすぎて進展しないのは寂しいかぎりです。問題をどんどん先送りするのは遺憾です。

尾上：2・5 周年記念事業として松原再生に取り組んでおりますが、現地に対するサポートを陸前高田 RC との対応をお願いします。陸前高田 RC も自分達のクラブの事で精一杯の中での取り組みであり、サポートが必要と思います。又助成金を申請手続きも現在行っています。

清水：2 5 周年記念祝賀を担当しているが、1 2 月 1 5 日には是非お越し願いたい。5 名位と聞いてます。それと役所等の組織の動きが遅いが、ロータリー組織も同様と思います。ロータリーの助成金申請で尾関さんが苦労している現実もあります。

本日の例会で橋本さんが話してましたが、高田松原で残った 1 本の松に目がふいたという事ですが、長い目で肅々と進めるべき事は進めるべきだと思います。

岩上：6 月 1 8 日被災地に行きました。伊藤 PDG は青山学院出身とのことですが、私も後輩でありうれしく思います。視察してから 3 ケ月強経過しましたが、現場を見て参りましたが、震災復興が進まない現状の中で、政府大臣の方々が失言を繰り返している事に対して人間としてなぜこのような言葉が出るのか理解に苦しみます。我々としては何ができるか、お役にたてるのか、今後ともロータリアンとして支援して行きたたく頑張ります。

村山：視察しましたが、現地を見なければいけないと確信しておりました。今後も機会を見て現地に赴きたい。松原も将来に向けて長い目で見ながら支援したい。

尾関：今年度社会奉仕委員長として現地を見ました。2 5 周年記念事業担当として、支援を松原再生といたしました。財源の助成金申請の手続きに現在取り組んでおります。

今回伊藤 PDG がお越し頂いたのは、この事業の進めるに当たってタイムリーであり、大変ありがたく思っております。陸前高田 RC の実態からクラブ全体のコンセンサスを得る事には、水沢東 RC のサポートが必要と思うのでよろしくお願いします。松原復興にあたっての手続きも見積り等も必要だし、被災者の高齢者の心のケアとしてのこの計画を長い目で実施したいので協力を願います。

伊藤 PDG：単年度ではなく長い目で実施するべきと思うので仮称「ロータリーの杜」でも何でも良いので知恵を出しながら実施しましょう。

スピードが大切、3 年後、5 年後の事を考え今実施しなくてはいけない。緊急性を言う前に行動をおこす必要がある。この事により皆の気持ちが一つに成能ると思っています。

貴クラブ 2 5 周年記念事業に是非協力させて頂きます。高田市長にも話を進言したいと考えてます。本日は皆さんと親しくお話が出来て大変嬉しく思います。又赤坂ロータリークラブが取り組んでいる事が私達の考えと一致している事を確認出来た事に大変意義を感じました。プランが実現出来ますよう共に頑張りたいです。

(ロータリー情報委員 橋本年男記)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011～2012 年度

国際ロータリーテーマ：カルヤン・パネルジー会長



NO. 1152 / 2011. 09. 30

東京赤坂ロータリークラブ

例会日／毎週金曜日 12:30

例会場／ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目 アネックス 3F

Tel / 03-3505-5976 Fax / 03-3505-6004

E-mail / akasaka-rotary@wB.dion.ne.jp

URL / http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報 「未来に向かって広げよう心の絆 赤坂ロータリークラブ」
2011～2012 年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／高須康有会長

●本日の例会/2011 年 9 月 30 日 第 1179 例会

卓話：「“こわくない” 大腸がんと腸のお話」
東京警察病院 副院長 大島 秀男 氏

●前回報告／2011 年 9 月 1 6 日 1178 回例会

卓話：「東日本大震災 復興について」

第 2520 地区

2001-2002 年度ガバナー

伊藤 大亜 氏

(水沢東 RC)



親睦活動委員会：(佐藤委員)

親睦ゴルフコンペを昨日開催いたしましたので、報告させて頂きます。参加者に高須会長、尾上幹事の奥様、特別参加に内田元会員の参加もあり計 12 名で行われました。大変暑い中、誰一人リタイヤする事なく、ホールアウトし又、熱い優勝争いが繰り広げられ、みごと高須会長がパープレー 72 でラウンドし優勝されました。次回は是非 4 組、5 組で開催したいと親睦委員会は考えています。今回、御都合で参加できなかった会員も御協力のほどよろしくお願い致します。

クラブ広報委員会：(村山副委員長)

週報の今週号 (NO.1151) に掲載しましたように、”めんぼう”の掲載を再開致します。内容、文章の量にはこだわりません。会員の皆様からの多数の投稿を期待しております。

尾上幹事：

①千代田、銀座・日本橋グループ共催 IM 開催のお知らせです。11 月 10 日 (木) 16:00～19:00 (親睦会含む)、第一生命新館 6F 会議室で開催されます。対象者は、会長、幹事、奉仕関係委員長、ベテラン・若手会員 5 名以上です。費用は、550 円×クラブ人数分としておりクラブ負担となります。締め切りは 10 月 7 日です。②東京南ロータリークラブ (幹事クラブ) によるカンボジア教育支援プロジェクト第 1 回全体会議参加のお願いが届いております。10 月 6 日 (木) 15:00～17:00、東京會館 11F パールルームにて開催されます。③第 2 回赤坂ロータリー・公山城ロータリークラブ親善交流会のお知らせ



9 月 1 6 日 (金) / 11 件 22,000 円

累計 266,500 円

多額の寄付を有難うございました。

高須康有/伊藤パストガバナー、ご遠方のところお越しいいただき、ありがとうございます。卓話よろしくお願い致します。**橋本年男**/伊藤パストガバナー、本日はよろしくお願い致します。大日方さん、清水さん素晴らしい絵と、稲門合唱団の唄ありがとうございます。朴さんニコニコご苦労さまです。**庄司泰典**/パクさん、ニコニコご苦労様です。**佐藤雅彦**/昨日、ゴルフコンペに参加頂きました皆様、ありがとうございます。コンペ幹事として、いたらない点がありました事、ご勘弁願います。楽しかったですネ。**西澤民夫**/昨日の相模原ゴルフクラブは、とても暑かった!!朴さん、ご苦労様です。**清水寛**/暑い中の親睦ゴルフお疲れ様でした。又先日の日曜日は、遠い羽村の演奏会に橋本さん来ていただき感謝。**村山公士**/伊藤様、本日はようこそ当クラブへ。卓話を楽しみにしております。**土屋東一**/朴さん、ニコニコご苦労様です。**渡部一元**/夏の間、海外におり例会欠席がつづきました。今日から復帰します。**田村昭二**/昨日の楽しい親睦ゴルフお疲れ様でした。朴さんニコニコご苦労様です。**秋吉志郎**/朴さんニコニコご苦労様です。

出席報告：会員 43 名／出席 25 名・欠席 18 名
ゲスト / 伊藤大亜 氏 (卓話)

●次回予告/2011 年 1 0 月 7 日 (金) 第 1180 例会

卓話： 米山奨学生 ウナル・ピラル氏

大震災とロータリー・ロータリーの底力

国際ロータリー第 2520 地区 PDG 伊藤 大亜 氏

只今ご紹介をいただきました伊藤大亜でございます。岩手県と宮城県を一つの地区とした第 2520 地区の PDG でございます。所属は水沢東ロータリークラブで、入会は平成元年 1 月 1 日でして、私のロータリー歴は平成の歴史と全く一緒でございます。

今日は皆様の前で貴重なお時間をさいいただき、又、お話をする機会を与えて頂きまして、誠に光栄でございます。有り難うございました。

先ずは、このたびの東日本大震災に際しましては、昨年度の吉岡会長様をはじめ多くの皆さんにわざわざ被災地までお越しいただくと共に多大なるご支援をいただきまして誠に有り難うございました。橋本幹事さんからは例会の際に卓話をして欲しいとのお言葉でしたが、私と致しましては、今日は卓話と言うよりむしろお礼を申し上げに参ったつもりでございます、どうぞ宜しく御願いたします。

私は第二次世界大戦直後の旧制中学の途中から都立青山高校、青山学院大学を含めまして 43 年間東京で暮らしまして 23 年前に郷里水沢に戻りました。今となれば東京の生活が大変懐かしくてたまりません。当時は赤坂と言えば高級料亭街でございまして、私共には全く手の届かない地域でございました。皆様は本当にお幸せな方々でございます、誠にうらやましい次第でございます。

なにやら、はじめから横道にそれてしまいましたが、本日の卓話のお話を頂いた際、何を話そうかと考えましたが、今更「ロータリーとは」と言うお話をしましても、釈迦に説法と言うことになりかねませんので私しか知らない現実的なお話をさせていただきたいと思ひます。去る 3 月 11 日、私共第 2520 地区の三陸沖はマグニチュード 9.0 と言う激震に見舞われ、20 数分前後には、高さ 15 メートルから 20 数メートル、場所によっては 39 メートルを越す地域まで襲いかかった大津波によって全ての港は飲み込まれ、当地区岩手県と宮城県の海岸寄りの全ての街はまさに壊滅状態となり、1000 年に一度といわれる未曾有の大震災となりました。

今まで住み親しんだ家屋も、職場も、お店も失われ、街全体が瓦礫の地と化してしまい、亡くなられた方、行方不明の方は合わせて 2 万人を超しております。勿論岩手に視察にいらした皆様はお分かりいただけと思いますが、これ以上の惨状は見る事はできないほどの現状でございます。

それを知った世界中のロータリアンから寄せられました義援金はあっという間に 10 億円を越しましたが、ものすごいロータリーパワーに圧倒されましたが、そのご支援には本当に頭が下がります、ここに改めて皆様にお礼を申し上げますが、その中には東京赤坂 RC の皆さんの温かいご支援もたっぷり入っております。そこには 26 のロータリークラブがございます。ガバナー

は懸命に各クラブを調査し、クラブ存続の支援を続けておりますが、休会中のクラブ、建て直し中のクラブ、等々様々ございます。

一時的には乗り切れても地域が甦らなくては、長続きはしないと思ひます。地区では 18 名のロータリアンが命を落としました、改めてご冥福をお祈り致します。各クラブの会員は、被災した自分自身の身を守る事で精一杯で、これからどうやってロータリー活動を行かれるのか模索を続けております。

私自身は、震災の時は丁度家族で東京は新宿西口にりましたが、2 時 46 分大きなゆれを感じましたので、建物を逃れ中央の高層ビルを見上げられる空の下へと急いで移動致しました。大きく傾き左右に揺れ動く高層ビル街を奇しくも目撃する事ができました。心の中では、どのビルから倒れるのだろうと思われるほどの揺れでしたが、何と 10 分位後にはピタリと止まり、日本建築の素晴らしさをも実感できました。

東京は震度 5 強前後だったと記憶しておりますが、私はこの地東京で被災をした一人でございます。丁度私と同じ地区の桑原茂 PDG が 11 日当日の朝、被災する前に仙台空港を出発して 2720 地区の会長代理として赴きまして、地区大会の最中に地震を知り、帰路東京に立ち寄っておりましたが、彼は激しい被災地の一つであります塩釜ロータリークラブの所属でございます。

大都市東京のライフラインはストップし、もはや交通もままならず、落ち着いた頃に知り合いに送ってもらいまして真夜中にこの赤坂のホテルにたどり着いた次第でして、私は 4 日間東京で足止め状態の後、5 日目にして始めて東北につながった唯一の交通手段・飛行機で秋田空港に降り、迎えに来てくれた当地区の佐藤勝己会員と共に帰宅する事ができましたが、激しい被災に遭った桑原 PDG は居ても立ってもいられませんでしたが、有難い事に東京の同期のガバナーに車を借りガソリンまで手配してもらって道路とはいえない道を一晩かけて家にたどり着いたと聞いておりますが、彼の自宅も会社も水浸しで、まともな生活は全く出来ない状況にあったそうでございます。

そんな中、世界各地のロータリアンから支援物資が続々と寄せられ始めました。桑原 PDG はわが身を省みず会社を片付け支援物資の集荷基地とし、被災地への支援を開始いたしました。見る見るうちに集まった支援物資に休む余裕も全くなり、ついには私に岩手県側の基地として集荷の手伝いを要請されました。一部始終を見ていた私には全く断る事も考えられず、私のクラブの高橋悦弥 PAG の所有するホールを借り、沿岸の被災地に送る基地となったのであります。その時、沿岸で被害の最も大きかった大船渡の大船渡西 RC の濱守豊秋 PAG からの要請で、北上西 RC と台湾の紳林（しりん）RC そして大坂の豊中南 RC とで、会員数 1730 名を要する大船渡市漁業協同組合への軽トラック 5 台の

M.G. プロジェクトを組み納入致しましたが、この時思ひもよらない事態が生じたのであります。岩脇洋一と言う組合長が軽自動車の引渡し後、「私は今までロータリーを全く知りませんでした、何の関係もない私達に対し、政府も地方自治体もここ半年何の手も差し伸べてくれませんでした中で、この様に私共が最も望んでいた品物を頂くとはまるで夢の様です、私も一緒にその様な活動をさせてください」と言う挨拶をされた後、10 日後に大船渡西 RC に入会され、現在会員として活躍している所です。

ガバナーエレクトの時のアナハイムの国際協議会に於いて南園義一研修リーダーに「貴方はなぜロータリアンですか」と一人ひとり問われ、一瞬戸惑いながらも私は「出会いと感動ではないでしょうか」と返事をした事を思い出しましたが、この「感動」こそ、この度「地域社会のために積極的に尽くす」事により感じ取る事が出来る感動である事を確りと身を持って体験いたしました。

今日の卓話も、なにやらこの度の震災のご報告となつてしまいましたが、会員増強のあり方の真髓がそこにあつたのです。

ピンチはチャンスです・・・この大震災を我々の手で復興する事により地域を生き返らせ、共に各ロータリークラブを甦らせる事ができるものと信じます。

第 2520 地区では、桑原 PDG と共に、過日「震災の復興プロジェクトチーム」を立ち上げ昨日事務所開きを致しました。被災されたクラブの会員諸君と共に活動しております。

皆様のご協力をくれぐれもお願いを致しましてお話を終わらせていただきたいと思います。

PDG 伊藤大亜氏をお迎えて

伊藤大亜（ヒロツグ）様は R I 第 2520 地区の 2001-02 年度のガバナーをされた方です。現在は PDG として岩手県の水沢東ロータリークラブに在席され、活動をされております。あの日から半年が経ちました！！2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分東日本を襲った大震災です。大被害を受けました被災地に私達赤坂ロータリークラブを代表する 8 名のロータリアンが陸前高田市、大船渡市に視察に行きました。そして伊藤 PDG を中心とする現地水沢ロータリークラブの方々と話をいたしました。

私達は大変心を痛めて帰って来ました。しかしながら陸前高田市民の心の寄り所でありました「高田松原」が全滅したかと思われましたが、復興のシンボルかのように 1 本だけ松の木は残りました。新しい芽も出て来たようです。かならず復興出来ると信じております。本日は伊藤バスターガバナーに震災にかかわる数々のお話を頂戴致します。

（ロータリー情報委員橋本年男記）

9 月 15 日親睦ゴルフ大会

9 月 15 日（木）相模原カントリー倶楽部に於いて、高須会長、尾上幹事の奥様、特別ゲストとして内田さんにご参加を頂き、計 12 名で親睦コンペが開催されました。

先ずは、和やかにスタートホールの前で記念撮影。快晴にも恵まれ、日頃の鍛錬を充分に発揮できる最高のコンディション、いざティーショット。されど名門、ミスショットには、くるぶしの高さのラフ、林、バンカーが待ち受け、グリーンでも速さに惑わされ、実力がそのままスコアに出てしまうアマチュア泣かせのコース。

又、ホールアウトを重ねる毎に気温が上昇し、昼には 30 度を超えるラウンド。

しかし、誰一人としてリタイヤする事無く、終始、笑い声が絶えない楽しいコンペと成りました。

高須会長がグロス 72、ネット 1 アンダーで実力優勝、準優勝に竹本さんと順当な結果に一同納得。表彰式を終え、プレー談議に今日一番の盛り上がり、宴たけなわの中、コンペ参加者全員の健闘を称えつつ散会と成りました。

親睦活動委員会は、今回以上の参加人数で次回親睦コンペ開催をと考えています。

ご協力の程、宜しくお願い致します。

（親睦活動委員 ゴルフ幹事 佐藤 雅彦）

参加者：高須会長、高須会長夫人、尾上幹事、尾上幹事夫人、吉田用親、清水親睦活動委員長、西澤民夫、竹本孝三郎、佐藤雅彦、田村昭二、岡澤実、内田憲三（元会員）計 12 名（敬称略）



（左上より）高須会長、佐藤（雅）、内田、清水、尾上、岡澤、西澤（左下より）田村、吉田、尾上幹事夫人、高須会長夫人、竹本（敬称略）